

(第 2 回) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和7年8月26日
契約業者名	大旺新洋（株）東京土木支店
契約業者の住所	東京都品川区大井1丁目47番1号
工事の名称	R 6 国道 4 号春日部古河 B P 幸主地区改良舗装その 1 工事
工事場所	茨城県猿島郡五霞町幸主地先
工事種別	一般土木
工事概要 (変更した内容について記述する)	「令和 7 年 3 月から適用する公共工事設計労務単価について」に係る特例措置による変更
工期（自）	令和7年3月12日
工期（至）	令和8年2月27日
変更前の契約金額 (税込)	¥ 3 0 0 , 3 0 0 , 0 0 0 -
変更金額 (税込)	¥ 4 , 6 2 0 , 0 0 0 -
変更後の契約金額 (税込)	¥ 3 0 4 , 9 2 0 , 0 0 0 -
変更理由	「令和 7 年 3 月から適用する公共工事設計労務単価について」に係る特例措置による変更

(第 3 回、最終) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和8年2月27日
契約業者名	大旺新洋株式会社 東京土木支店
契約業者の住所	東京都品川区大井1丁目47番1号
工事の名称	R 6 国道 4 号春日部古河 B P 幸主地区改良舗装その 1 工事
工事場所	茨城県猿島郡五霞町幸主地先
工事種別	一般土木工事
工事概要 (変更した内容について記述する)	<p>道路土工 (掘削工 約470m³ 路体盛土工 約1,330m³ 路床盛土工 約1,430m³ 法面整形工 約350m² 残土処理工 約2,580m³) 地盤改良工 (路床安定処理工【浅層混合処理工】 約646m²) 擁壁工 (作業土工 1式 場所打擁壁工(コンクリート 約73m³ 鉄筋 約0.62t) 帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁工 約487m² 補強盛土工 約734m²) 排水構造物工 (作業土工 1式 側溝工 約360m 管渠工 約17m 集水桝・マンホール工 8箇所) 横断管防護工 (作業土工 1式 横断管防護工(1) (鉄筋 約4.95t コンクリート 約41m³) 横断管防護工(2) (鉄筋 約5.14t コンクリート 約42m³)) 舗装工 (アスファルト舗装工(1) 約1,950m² アスファルト舗装工(2) 約1,080m²) 縁石工 (縁石工 約210m) 道路附属施設工 (道路附属物工 約164m²) 防護柵工 (路側防護柵工 約581m) 構造物撤去工 (作業土工 1式 排水構造物撤去工 1式 防護柵撤去工 1式 構造物取壊し工 1式 運搬処理工 1式) 応急処理工 (応急処理作業工 1式) 仮設工 (水替工 1式 工事用道路工 1式 路側防護柵工 約120m 交通管理工 1式) 共通仮設費 【運搬費】 仮設材運搬費 1式 【技術管理費】 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用(ICT) 1式 BIM/CIM適用工事に要する費用 1式 土質等試験費 1式 地質調査費 1式 遠隔臨場にかかる費用 1式 防護柵の出来形管理のための非破壊試験 1式 動態観測 1式 施工調査費 1式 【営繕費】 快適トイレ 1式 業務委託料(設計) 1式</p>
工期 (自)	令和7年3月12日
工期 (至)	令和8年3月27日

変更前の契約金額 (税込)	¥304,920,000
変更金額 (税込)	¥0
変更後の契約金額 (税込)	¥304,920,000
変更理由	<p>1. 道路土工 現地精査の結果、盛土構造を見直したため、掘削工(ICT)、法面整形(ICT)を削除し、掘削工、法面整形工に変更する。 また、同上の理由により路体盛土工(ICT)、路床盛土工(ICT)を削除し、路体盛土工、路床盛土工を数量精査(増)、残土処理工を数量精査(減)する。</p> <p>2. 地盤改良工 現地精査の結果、路床安定処理工を数量精査(増)する。</p> <p>3. 擁壁工 現地精査の結果、作業土工を数量精査(減)とし、現場打擁壁工、帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁工を数量精査(増)する。また、現道(新4号国道)の通行確保と後工事の施工を考慮した設計に見直したため、補強盛土工(ジオテキスタイル)を追加する。</p> <p>4. 排水構造物工 現地精査の結果、作業土工を数量精査(増)とし、側溝工、管渠工、集水柵・マンホール工を数量精査(減)する。</p> <p>5. 横断管防護工 現地精査の結果、既設水路を保護する必要があるため、作業土工、横断管防護工(1)、横断管防護工(2)を追加する。</p> <p>6. 舗装工 現地精査の結果、アスファルト舗装工(1)、アスファルト舗装工(2)を数量精査(増)する。</p> <p>7. 縁石工 現地精査の結果、縁石工を数量精査(減)する。</p> <p>8. 道路付属施設工 現地精査の結果、道路付属物を数量精査(減)する。</p> <p>9. 防護柵工 現地精査の結果、防護柵工を数量精査(減)する。</p> <p>10. 構造物撤去工 現地精査の結果、既設構造物が施工時の支障となり撤去が必要のため、作業土工、排水構造物撤去工、防護柵撤去工、構造物取壊し工、運搬処理工を追加する。</p> <p>11. 応急処理工 現地精査の結果、応急処理事業工を追加する。</p> <p>12. 仮設工 現地精査の結果、現道(新4号国道)の通行を確保しながら施工するため、水替工、工事用道路工、路側防護柵工を追加する。また、交通管理工を数量精査(減)する。</p> <p>13. 共通仮設費 【運搬費】 現地精査の結果、運搬費を数量精査(増)とする。 【技術管理費】 現地精査の結果、盛土構造を見直したため、保守管理(ICT)システム初期費を削除し、3次元起工測量・3次元設計データの作成費用(ICT)、BIM/CIM適用工事に要する費用、土質等試験費、地質検査費、遠隔臨場にかかる費用、防護柵の出来形管理のための非破壊試験、動態観測、施工調査費を追加する。 【営繕費】 現地精査の結果、快適トイレを追加する。</p> <p>14. 業務委託料 現地精査の結果、補強盛土工の設計費(図面製作等)を業務委託料として追加する。</p> <p>15. 工期 工期は、当初想定されていなかった補強盛土工(ジオテキスタイル)を追加したため、28日間延長し、令和8年3月27日までとする。</p>